



あなたも家族も
まるごと守る！
頼れる補償の

商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

毎月ご加入
いただけます!!

シンプル「がん」補償
トータル「がん」補償
「けが」の補償
「病気」の補償

けが・病気・がんに
しっかり備える

補償内容をわかりやすく解説した
動画もご覧ください!!

この動画は
二次元
コードから



郡上市商工会 LINE 公式アカウントを開設しました！

QRコードを読み込んで、ぜひ友だち追加をお願いします

経営支援施策の最新情報をいち早くお知らせします！



《専門家窓口相談スケジュール》

支援内容	11月相談日	支援内容	12月相談日
経営	12日(水) 26日(水)	経営	12日(金) 25日(木)
税務	18日(火)	税務	18日(木)
労務	13日(木)	労務	11日(木)
法律	28日(金)	法律	18日(木)
IT	21日(金)	IT	19日(金)
金融	12日(水)	金融	10日(水)

《貸付利率情報》

令和7年10月28日時点

融資制度名	利率(%)	保証率(%)	適用
経営改善貸付	2.00	—	
普通貸付	1.90～4.30	—	
創業ローン	1.20	—	創業
市チャレンジ	1.9	0.8	創業
支援融資	2.1	0.45～1.9	異業種
市小口融資	0.75	0.5～2.2	

《出張所カレンダー》 開設時間(午前)9:00～12:00 (午後)1:00～4:30

	曜	11月				12月			
大和	火	4	11	18	25	2	9	16	23
白鳥	木	6	13	20	27	4	11	18	25
高鷺	水	5	12	19	26	3	10	17	24
美並	木	6	13	20	27	4	11	18	25
明宝	火	4	11	18	25	/	9	16	23
和良	水	5	12	19	26		10	17	24

※12月2日(火) 明宝出張は都合により終日閉所とさせていただきます。ご不便をお掛け致しますが、ご理解の程お願い申し上げます。

※都合により出張所開設日であっても閉所させていただくことがあります。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

小規模企業景気動向調査 [2025年9月期調査]
～現状維持の中、最低賃金引上げの対応が迫られる小規模企業景況～

＜産業全体＞

9月期の産業全体の景況は、売上額・採算・資金繰りDIは不変、業況DIが5か月ぶりにわずかに低下する等、全体としては横ばいでの推移となった。建設業を除く多くの業種で価格転嫁の進展が見られない中、10月から半数近くの都道府県で最低賃金が引き上げられることによるコスト増への不安が高まっている事業者の声が多数寄せられた。

	DI	8月	9月	前月比	前年 同月比
売上額		7.2	6.7	▲ 0.5	2.0
採算	▲	17.2	▲ 17.0	0.2	▲ 1.4
資金繰り	▲	13.7	▲ 13.2	0.5	▲ 1.0
業況	▲	13.0	▲ 13.8	▲ 0.8	▲ 3.3

＜製造業(食料品、繊維、機械・金属)＞全項目でわずかに改善を示すも、持続性に注視が必要な製造業

製造業は全DIがわずかに上昇した。2025年8月期に続いて2か月連続の改善となった。調査対象である食料品、繊維、機械金属のいずれも上昇傾向を示しており、特に機械金属では全DIが前月比でやや高い伸びを示した。一方で、原材料価格の高止まりや人手不足に関する懸念も多く寄せられており、今回の上昇が持続的な回復につながるかどうかは不透明である。今後も引き続き動向を注視する必要がある。

	DI	8月	9月	前月比	前年 同月比
売上額		6.4	8.0	1.6	4.4
採算	▲	19.8	▲ 19.1	0.7	▲ 0.4
資金繰り	▲	16.5	▲ 14.7	1.8	▲ 0.7
業況	▲	17.1	▲ 15.3	1.8	▲ 1.1

＜建設業＞価格転嫁が進む一方、人手不足やコスト高が課題となる建設業

建設業は、売上額・資金繰りDIがわずかに上昇、採算・業況DIは不変であった。価格転嫁が進んでいるとの声が他業種に比べて多く聞かれる一方で、人手不足や資材価格の高止まりに苦慮する事業者も依然として多い。また、2025年12月までに全面施行される改正建設業法の影響により、受注量の伸び悩みを懸念する声もみられ、今後の受注環境の改善に向けた対応が求められる。

	DI	8月	9月	前月比	前年 同月比
売上額		9.1	9.7	0.6	▲ 1.6
採算	▲	16.2	▲ 16.6	▲ 0.4	▲ 5.2
資金繰り	▲	13.1	▲ 11.2	1.9	0.2
業況	▲	10.5	▲ 11.0	▲ 0.5	▲ 3.8

＜小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)＞採算は改善したものの、消費低迷で業況悪化が続く小売業

小売業は、売上額が小幅に低下、採算DIは小幅に上昇、資金繰りDIは不変、業況DIはわずかに低下となった。衣料品では全DIが前月比3ポイント以上の低下となり、9月も続いた30度超の猛暑により、来店頻度の伸び悩みや秋物販売の減少が要因とみられる。食料品についても価格の上昇が続いており、10月には新たに3000品目超が値上げされることから、消費者の節約志向が一層強まり、消費低迷が続く懸念がある。

	DI	8月	9月	前月比	前年 同月比
売上額		5.2	3.1	▲ 2.1	5.6
採算	▲	21.9	▲ 20.5	1.4	▲ 0.1
資金繰り	▲	16.1	▲ 16.5	▲ 0.4	▲ 0.9
業況	▲	18.1	▲ 19.7	▲ 1.6	▲ 2.6

＜サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)＞観光需要一服し、コスト高で収益悪化が続くサービス業

サービス業は、売上額・業況DIが小幅に低下、採算・資金繰りDIはわずかに低下した。8月期に全DIが上昇した反動もあり、9月期は全体としてやや弱含みの結果となった。特に旅館関連では、前月比・前年同月比ともに全DIが低下しており、観光需要の一服感が見られる。一方で、節約志向の高まりがみられる中、今後の観光シーズンにおける需要回復への期待は依然として残っている。

	DI	8月	9月	前月比	前年 同月比
売上額		8.3	5.7	▲ 2.6	▲ 0.8
採算	▲	10.8	▲ 11.8	▲ 1.0	0.2
資金繰り	▲	9.0	▲ 10.5	▲ 1.5	▲ 2.8
業況	▲	6.1	▲ 9.0	▲ 2.9	▲ 5.7

調査概要

- ・調査対象: 全国303商工会の経営指導員(有効回答数: 246/回答率 81.2%)
- ・調査時点: 2025年9月末
- ・調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式
- ※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。